



バレエ 眠れる森の美女

THE Sleeping Beauty

Direction & Choreography by Yasuyuki Shuto

Illustration: Izuru Aminaka

「バレエ初心者の方にも分かりやすいよ」各幕の注目すべき見どころを教えてください。

「眠れる森の美女」はプロローグ付きの全3幕からなる壮大なバレエですが、僕のバージョンはプロローグと1幕の間に、中村恵さんが演じる悪魔の精カラボスの館のシーンがあります。また1幕のオーロラ姫 16歳の誕生日に、4人の王子相手に踊られるローブアタージュ、2幕には福岡雄大さん演じるデジレ王子の登場ヴァ

リエーション、3幕の宝石や青い鳥のディヘルティスマン、そしてオーロラ姫とデジレ王子の結婚のパ・ドゥ・ドウ...と見どころを挙げたらきりがありませんね(笑)。

「5、8、11月の振付を終え、作品の全体像が見えてきました。当初構想していた演出から変わってきたことはありますか？」
変わってきたようなことはありません。当初のイメージ通り進んでいます。

「大分で、生演奏のオーケストラによるバレエ公演を観ることはほとんどありませんが、生演奏の良さはどの辺りでしょうか？」
やはり高揚感とでも言うのでしょうか。これはお客様も出演者も得ることができる感覚だと思います。



特別編成の管弦楽もリハーサルを9月から定期的に行っています。

まだ試行錯誤している段階です。装置も絢爛豪華なものになる予定です！

「デジレ王子の福岡さん、カラボスの中村さんをはじめ、主要キャストはどのようなキャラクターになりそうですか？」
福岡さんとは前回の『ドン・キホーテ』でも一緒に働いていたので、僕が最も信頼がおけるダンサーですから、彼らしい王子像を構築していったらいいと思います。前回よりキャラクター色が強い役だったので、今回はまた違った、ノープルでスマートな一面が観られることと思います。今回「眠れる森の美女」と決めたときに、中村さんの演じるカラボスが一番に頭に浮かびました。バレエ演目のカラボスはあまり美しくなく、ただ怒っ

ているだけの表現になりがちですが、中村さんが演じれば美しく、その怒りに到達する過程までもが身体から発せられると思います。本番が非常に楽しみです。

「今回のメインビジュアルは、大分県立芸術文化短期大学出身のイラストレーター、網中いつるさんをお願いされていますが、完成したビジュアルは実際の舞台でも使用されるのでしょうか？ また、どのようなインスピレーションが湧いてきましたか？」
当初舞台では使わない予定でしたが、網中さんの描いてくださったビジュアルがあまりにも素敵だったので、今は使用する方法を考えているところです。他にもこのビジュアルを見ることが、沢山のインスピレーションをいただきました。

「今回出演する大分のダンサーたちへ、アドバイスをお願いします。」
まずはこの舞台を楽しみましょう。楽しむためには沢山の練習、稽古を重ねなければなりません。稽古を大切に、多くの規則の中で踊らなければなりません。練習は大変ですが、それを乗り越えれば、きっと本番を楽しむことができると思います。

「大分時代の楽しい思い出や苦しい思い出はありますか？」
大分では楽しい思い出がありません。

「大分に帰ってきたら必ず食べる好物はありますか？」
大分は何でも美味しいので...。まあ、お魚をいただくことが多いでしょう。



Data
大分県民と創りあげる大分のバレエ
『眠れる森の美女』
2020年2/9(日) ▶ iiichikoグランシアタ
[演出・振付] 首藤康之 [指揮] 森口真司 [管弦楽] 眠れる森の美女のための特別オーケストラ
[共催] おおいた洋舞連盟 [時間] 16:00開演 [料金] 一般GS席12,000円、S席10,000円、A席8,000円、B席6,000円、C席完売



10/30(水)~11/4(月・祝) / 取材日11/1(金) 眠れる森の美女 OITA リハーサル

この日の最後となる18時30分からのリハーサルには、ゲストダンサーの加地暢文さん、林田翔平さんを含む21名が参加。まず、第3幕の幕開けとなるマズルカからスタートし、行進の際のポジションや手の動き、つま先など細部にわたって繰り返し稽古を行いました。「悪くないけど良くもない」と納得のいくまで修正を重ね、ダンサーの動きに対し「最終的に全員の動きが完全に一致するよう、揃えてほしい」と課題を与えました。続いて宝石の精のパートでは、何度も音楽を聴いて考えを巡らせる首藤さん。実際に踊らせた後にダンサーの意見を聞きながら、具体的に振り付けや動きを加えていきます。前回に比べ、作品の全体像が見えてきた今回のリハーサル。本番まであと3カ月、期待が高まります。



後、記者からの質問に首藤さんは「一人でも多くの人に、大分のみならず創ったバレエを観てほしい」と意気込みを語りました。



10/30(水) 首藤康之 知事表敬訪問

首藤康之さんなど5名が広瀬勝貞知事を訪れ、来年2月9日(日)の上演を報告しました。最初に廣瀬知事から「iiichiko総合文化センター館長から、本年度最大の主催事業で、特別編成のオーケストラを従えての総勢200名以上のスケールで上演することなどが伝えられました。続いて首藤さんから作品を選んだ理由や、大分でのバレエとの出会いが今回の上演に繋がったことなどが語られ、広瀬知事から労いの言葉、
「手応えを感じています。ラグビーワールドカップの勢いに負けないよう、がんばります！」と力強い言葉が。また、オーロラ姫役の佐藤香名さんに対して、「体調を整えてがんばってください」と知事から激励の言葉をいただきました。終了後、記者からの質問に首藤さんは「一人でも多くの人に、大分のみならず創ったバレエを観てほしい」と意気込みを語りました。

